

川口市少年軟式野球連盟 卒団フェスティバル

「培った努力 今後も」

川口市少年軟式野球連盟スポーツ少年団の令和4年度卒団フェスティバルは11日、東スポーツセンター体育館で3年ぶりに開催され、今春卒団する6年生168人と役員、指導者、保護者が参加して行われた。
(松成拓海)



卒団の日を迎えた選手たち=11日、東スポーツセンター体育館(松成拓海撮影)



卒団生を代表してお礼の言葉を述べた南鳩ヶ谷スーパースターズの丸山(前列中央)ら、あいさつを行った選手と父母代表としてスピーチした上青木ポニーズの明平さん(後列左)

開会式で増田守男会長が「今まで少年野球で培った一生懸命努力することを念頭に置いて、今後も頑張っていたきたい」とあいさつ。来賓の奥ノ木信夫市長、杉本佳代川口市議会議長、同市スポーツ少年団の田中一光本部長がエールを送り、川口市立高吹奏楽部の演奏で盛大に幕を開けた。

卒団生体験発表では、東西南北4支部と女子チームの川口カールズ、男子選抜チームのオール川口を代表して片岡瑞己、宮本愛(百塚ジャガート)、岩出真二朗(川口ジャイアンツ)、堀内賢太(川口グッドボーイズ)、三橋真尋(芝富士ゴールデンイーグルス)長原勇輝(差間フェニックス)の6選手が少年野球での思い出を振り返り、学んだことや中学での抱負などを語った。支部対抗競技では、桜小イーグルスの高島巧が宣言し、大縄跳びや支部対抗リレーなどの7種目が行われ、元気な声が響いた。

卒団セレモニーでは、増田会長が選手に卒団証書を授与し、各チームの指導者がメダルを首にかけた。丸山拓徒(南鳩ヶ谷スーパースターズ)が卒団生を代表して「野球を通してあいさつ、仲間の大切さ、感謝することを学びました」とスピーチ。父母代表の明平尚子さん(上青木ポニーズ)は卒団生へのねぎらいと連盟への感謝の気持ちを口にし、最後は帽子を高々と投げて幕を閉じた。

川口少年野球連盟会長杯

2回戦 川口ビッグスターズvs芝富士ゴールデンイーグルス
2022年11月6日、川口市営球場

